

第41回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

- 1 この調査の回答は、宛名のご本人様にお願いいたします。
- 2 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。
- 3 回答は、原則としてあてはまるものに○をつけてください。質問は、(○は1つ)、(○はいくつでも)などと表示していますので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、次の質問に進んでください。

- 4 お答えが選択肢の中にある場合は、「その他」を選び、() 内にその内容を具体的に記入してください。
- 5 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、12月22日(水)までに郵便ポストにご投函ください。
※調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。
- 6 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電話 043-223-2249

FAX 043-227-3613

【保健医療について】

問1 あなたは、千葉県内の医療に満足していますか。

n=1,571 (○は1つ)

1.6 非常に満足している	40.7 やや不満である	8.7 わからない
39.3 まあ満足している	7.1 非常に不満である	2.7 無回答

↳ (問1で「3」「4」とお答えの方に)

問1-1 あなたは、どのような点に不満を感じていますか。次の中から選んでください。

n=750 (○は3つまで)

65.6 診療までの待ち時間が長い
12.5 近くに医療機関がない
40.7 夜間・休日の診療体制が十分ではない
18.5 初診の際にどの医療機関(診療科)を受診したらいいのかわかりにくい
26.8 医療機関ごとに得意とする診療科がわからない
16.9 症状や治療に関する説明が十分ではない
6.8 他の医療機関への紹介がスムーズに行われない
16.8 医療機関の連携体制に関する情報提供が十分ではない
18.8 長期療養のための入院施設等が十分に整備されていない
12.7 その他(具体的に)
0.1 無回答

問2 あなたが、今後、県に力を入れて欲しい医療について、次の中から選んでください。

n=1,571 (○は3つまで)

36.5 がん医療	35.6 在宅(訪問)医療
25.4 循環器(心臓病・脳卒中)医療	25.8 地域単位の医療
43.4 救急救命医療	(その地域で完結する医療全般)
6.9 精神科(救急)医療	3.7 その他
23.0 小児(救急)医療	(具体的に)
17.3 産科・周産期医療	5.5 特になし
	3.4 無回答

このほかに、「保健医療について」やここまでの質問(問1~問2)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

--

【高齢期の住まいについて】

県内の高齢者のひとり暮らしや高齢者の夫婦のみの世帯は、10年前にはおよそ10世帯に1世帯であったのが、10年後にはおよそ4世帯に1世帯になると見込まれています。

千葉県では、身体的能力が衰えがちで地域とのつながりも希薄になりがちな高齢者のみの世帯も「安心」して「自立可能」な住まいの確保ができるよう取り組んでいきます。

※ 「高齢期」とは、ここでは65歳以降のことをいいます。

※ 「高齢者」とは、ここでは65歳以上の方のことをいいます。

問3 あなたの住まいは、高齢者にとって住みやすいと思いますか。

(○は(ア)、(イ)ともそれぞれ1つ)

(ア) 住宅について

n=1,571

12.2	そう思う	22.2	そう思わない
33.4	どちらかといえばそう思う	4.6	わからない
26.4	どちらかといえばそう思わない	1.3	無回答

(イ) 住宅の周りの環境（地域の環境・地域社会）について

n=1,571

10.7	そう思う	18.5	そう思わない
36.5	どちらかといえばそう思う	4.9	わからない
27.3	どちらかといえばそう思わない	2.0	無回答

問4 高齢者の住まいを考えると、あなたが重要だと思うことは何ですか。

n=1,571 (○は3つまで)

48.1	バリアフリー化された住宅（手すりがある、段差が少ないなど）
18.0	見守り装置・緊急通報装置がある住宅
12.0	耐震性や防犯性が高い住宅
47.2	近くに買い物できる場所がある
51.3	近くに医療施設や福祉施設がある
18.3	住宅周辺の道が歩きやすい（段差や坂が少ない、安全な道路など）
20.0	公共交通機関を利用しやすい
15.9	近くに家族や親戚がいる
23.9	近所付き合いや地域の支えあいがある
11.1	福祉サービスについて行政からの情報が得やすい
6.2	参加しやすいコミュニティー活動やサークル活動がある
2.7	地域に若い世代もいる
13.4	治安・風紀がよい
0.8	その他（具体的に
1.1	無回答

※ 「近くに」は、「日常的に利用するのに苦痛でない範囲」とお考えください

問5 高齢期に備え、あなたがお住まいの住宅の建て替え、買い替え、リフォームなどが必要だと思いませんか。予定の有無にかかわらずお考えください。また、対応済みの方は、「すでに対応した」を選択してください。 n=1,571 (○は1つ)

32.4 そう思う	12.3 どちらかといえばそう思わない
27.7 どちらかといえばそう思う	7.6 そう思わない
9.9 すでに対応した	7.0 わからない
	3.0 無回答

→ (問5で「1」「2」「3」とお答えの方に)

問5-1 その理由は何ですか。

n=1,100 (○はいくつでも)

46.5 住宅の老朽化	19.9 階段が急である
12.9 住宅の広さが適当ではない	8.1 エレベーターがない
20.7 間取りが不便	12.3 住宅の防犯性に不満がある
49.9 玄関、風呂、トイレなどに手すりがない	14.2 住宅の省エネ性に不満がある
25.0 浴槽に入りにくい(またぎにくい、深いなど)	5.7 その他 (具体的に)
33.6 住宅内の段差	2.3 無回答

問6 高齢者世帯 (65歳以上の者のみの世帯) の生活への手助けについてお聞きします。

(ア) あなた自身が高齢者世帯になった場合に手助けして欲しいと思うことは何ですか。

(イ) あなたが高齢者世帯に対して手助けできることは何ですか。

それぞれについてお答えください。

(○はいくつでも)

n=1,571	(ア) あなたが 高齢者世帯になった場合に して欲しいこと	(イ) あなたが 高齢者世帯に対して できること
買い物	37.7	50.2
外出時の送迎や付き添い	32.8	33.8
食事の準備や掃除・洗濯	30.9	19.9
ゴミ出し	17.9	45.1
留守番	3.2	18.8
話し相手や相談相手	28.5	41.1
ペットの世話	3.8	11.8
日曜大工や庭の手入れ (草刈など)	28.8	18.8
安否確認の声かけ	33.4	55.8
公共機関などでの手続き	30.2	23.3
急に具合が悪くなったときの手助け	74.2	40.0
身体介護	31.7	7.5
その他 (具体的に)	0.8	0.8
特になし	3.2	4.8
無回答	5.0	10.1

問7 あなたは、介護が必要になったとき、どのような住まい方を望みますか。

n=1,571 (○は1つ)

- 13.6 家族の介護を受けながら自宅に住みたい
- 20.6 介護サービスを受けながら自宅に住みたい
- 32.1 家族の介護や介護サービスを受けながら自宅に住みたい
- 13.8 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の高齢者施設に住みたい
- 10.2 サービス付き高齢者賃貸住宅に住みたい
- 0.8 その他 (具体的に)
- 6.9 わからない
- 1.8 無回答

問8 ご自分 (又は配偶者) の持ち家にお住まいの方にお聞きします。あなた (配偶者のいる方は「あなたとあなたの配偶者」) が今お住まいの住宅に住まなくなるとき、住宅をどうしますか。
n=1,170 (○は1つ)

- 今の住宅は自分又は配偶者の持ち家ではない
- 66.8 子供など親族に相続する
- 1.7 今の住宅を担保にして融資を受けるので、死亡した時点で住宅を金融機関に渡す
- 14.9 売家又は貸家にして収入を得る
- 1.8 取り壊す
- 1.0 その他 (具体的に)
- 13.8 わからない

→ (問8で「2」とお答えの方に)

問8-1 あなたが今お住まいの住宅を相続する方は、相続後、その住宅をどうすると思いますか。
n=781 (○は1つ)

- 68.0 自分又は家族の住まいにする
- 1.5 別荘・セカンドハウスにする
- 9.1 売家又は貸家にして収入を得る
- 1.2 特に活用しない
- 1.8 取り壊す
- 0.3 その他 (具体的に)
- 17.9 わからない
- 0.3 無回答

このほかに、「高齢期の住まいについて」やここまでの質問 (問3～問8) について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【日常の買い物の状況について】

問9 日常の買い物が困難な方が増加していると言われていました。

あなたは、日常の買い物（食料品・日用雑貨の買い物）に不便を感じていますか。

n = 1,571 (○は1つ)

5.5	たいへん不便である	40.7	あまり不便ではない
14.5	やや不便である	27.3	まったく不便ではない
10.6	どちらともいえない	0.3	わからない
		1.1	無回答

→ (問9で「1」「2」とお答えの方に)

問9-1 あなたが日常の買い物に不便を感じるようになった理由は何ですか。

n = 314 (○はいくつでも)

37.6	近くにあったお店が閉店した	60.2	もともとお店までが遠い
11.5	バス等の路線が廃止（又は縮小）された	4.5	外出そのものが困難
11.8	車の運転ができなくなった (運転していた者がいなくなった)	10.8	その他（具体的に)
		0.6	無回答

問10 次の中で、あなたが買い物に利用しているものはありますか。 n = 1,571 (○はいくつでも)

14.2	通信販売（日常の食料品・日用雑貨）
17.1	通信販売（日常の食料品・日用雑貨以外、いわゆるお取り寄せなど）
22.6	宅配（生協、スーパー・商店街の宅配など）
2.2	食事の配達（高齢者向けお弁当、惣菜、調理済み食材など）
1.5	移動販売車
56.1	どれも利用していない
1.4	無回答

(問10で「1」「2」「3」のいずれも選択しなかった方に)

問10-1 通信販売や宅配を利用しない方にお聞きます。あなたが、通信販売や宅配を利用しない（できない）理由は何ですか。

n = 908 (○は2つまで)

4.5	通信販売や宅配を行っている業者を知らない（利用方法を知らない）
13.7	安心して利用できる業者かどうか心配
9.3	注文の方法が難しい（パソコンがない等）、面倒である
2.9	支払い方法が難しい、面倒である
51.1	品物を自分で見ることができない
20.8	送料・利用料がかかる
23.0	その他（具体的に)
13.3	無回答

このほかに、「日常の買い物の状況について」やここまでの質問（問9～問10）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【防災に関する取り組みについて】

問 11 今年 10 月までに国内で、震度 5 弱以上の地震が 4 回発生しています。また、梅雨期の記録的な大雨や台風などにより九州、中国、東海地方を中心に浸水害や土砂災害などが発生しました。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。 n=1,571 (○は1つ)

27.8 強く感じている	14.1 ほとんど感じていない	0.8 無回答
55.5 少し感じている	1.8 わからない	

問 12 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。 n=1,571 (○は1つ)

60.6 知っている	38.3 知らない	1.1 無回答
------------	-----------	---------

問 13 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫等にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。 n=1,571 (○は1つ)

12.7 4日分以上	10.7 1日分
26.5 3日分	27.6 備蓄していない
21.2 2日分	1.3 無回答

問 14 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなるおそれがあります。あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。 n=1,571 (○は1つ)

41.5 知っている	57.6 知らない	0.9 無回答
------------	-----------	---------

問 15 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか。 n=1,571 (○はいくつでも)

44.2 家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化	
9.1 住宅（昭和 56 年以前に建築されたもの）の耐震化	
14.8 住宅の建替え（昭和 57 年以降）	
7.4 家具や建築資材の不燃化・防炎化	
15.7 その他（具体的に	）
23.3 無回答	

問 16 大規模地震などにより電車等が止まってしまった場合、勤務先や通学先など外出先から帰宅することが困難になるおそれがあります。あなたは、外出先で大地震が発生したら、その直後にどのような行動をとりますか。 n = 1, 571 (〇はいくつでも)

- 71.8 安全なところに避難する
- 21.8 徒歩ですぐに自宅に帰る
- 10.8 自動車やオートバイ、自転車などで急いで帰宅する
- 35.8 災害用ダイヤルや災害用伝言ダイヤルで家族の安否や自宅の被害を確認する
- 12.4 運行情報を入手するため最寄り駅に向かう
- 34.4 インターネットやラジオ等を使用して被害状況や交通情報を入手する
- 32.9 自宅までの経路の安全が確認できるまで会社や学校などに留まる
- 2.4 その他 (具体的に)
- 2.9 無回答

このほかに、「防災に関する取り組みについて」やここまでの質問(問 11～問 16)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【県民の治安に対する意識と警察にもとめること】

問 17 およそ 4 年前に比べて、あなたの住んでいる地域における犯罪の発生状況についてどう感じますか。 n = 1, 571 (〇は 1 つ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 8.4 非常に多くなったと感じる | 4.0 少なくなったと感じる |
| 37.3 多くなったと感じる | 0.6 非常に少なくなったと感じる |
| 29.2 変わらない | 18.6 わからない |
| | 1.9 無回答 |

問 18 あなたは、あなた自身やあなたの家族、友人、同僚などの身近な人が犯罪に巻き込まれる危険性について、どの程度不安を感じていますか。 n = 1, 571 (〇は 1 つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 15.3 非常に不安を感じている | 12.8 不安を感じていない |
| 57.8 少し不安を感じている | 12.0 どちらともいえない |
| | 2.0 無回答 |

→ 問18で「1」「2」とお答えの方は問18-1へ

(問18で「1」「2」とお答えの方に)

問18-1 あなたが身近で不安を感じている犯罪は何ですか。 n=1,149(○はいくつでも)

- 84.4 ひったくり、路上強盗、自動車・自転車盗などの街頭における犯罪
- 45.4 子どもに対するいたずらや誘拐などの犯罪
- 57.9 家や会社などに侵入して金品を盗む犯罪
- 30.0 殺人、強盗、誘拐などの凶悪な犯罪
- 44.1 振り込め詐欺や悪質商法などの詐欺犯罪
- 29.5 痴漢、強姦などの性犯罪やストーカー犯罪
- 24.6 非行少年、暴走族等による犯罪
- 18.4 外国人や暴力団などの組織を背景に行われる犯罪
- 5.4 過激派集団によるゲリラや大規模なテロ犯罪
- 4.4 歓楽街における客引きや違法風俗営業などの犯罪
- 1.0 その他(具体的に)
- 0.1 無回答

問19 県警では平成22年4月から、安全で安心できる県民生活の確保と地域の防犯力を強化するために、新たに15台の移動交番車を配備し、運用を開始しました。

あなたは、千葉県で移動交番車が運用されていることを知っていますか。

n=1,571(○は1つ)

- 10.8 知っているし、見たこともある
- 72.4 知らない
- 15.5 知っているが、見たことはない
- 1.3 無回答

問20 今後、全県下に配備を進めていく予定ですが、あなたが移動交番車の運用に期待することは何ですか。 n=1,571(○はいくつでも)

- 14.2 定期的に移動交番を開設し、落とし物等の届出の受理などの交番業務をしてほしい
- 32.0 高齢者等が集まる場所で防犯指導や交通安全指導をしてほしい
- 69.4 通学路や公園等、子どもが多い場所をパトロールしてほしい
- 39.6 繁華街や駅付近でのパトロールを強化してほしい
- 44.8 交通事故が多い交差点などで事故防止活動をしてほしい
- 5.4 その他(具体的に)
- 3.6 無回答

問21 千葉県警が県民の視点に立った活動を推進するために取り組んでいる施策について、あなたが特に必要であると思うことは何ですか。 n=1,571(○は2つまで)

- 58.3 身近な不安を解消する警察活動を強化する
- 32.8 県民の要望・意見を把握し、警察の業務運営に反映する
- 20.1 情報公開を進め、より開かれた警察にする
- 14.6 警察職員の職務執行に対する苦情に対し、誠実に対応する
- 22.2 きめ細かな被害者対策を進める
- 20.7 ストーカー犯罪やサイバー犯罪(ハイテク犯罪)など、新たな犯罪に的確に対応する
- 2.5 その他(具体的に)
- 3.4 無回答

問 22 あなたは、犯罪や事故の心配のない、安全で安心できる生活を守っていくために、
何が必要だと思いますか。 n = 1,571 (○は3つまで)

40.5	高齢者に対する安全・安心対策を推進する (交通安全、振込め詐欺等)
35.6	子どもや女性に対する性犯罪等の未然防止対策を推進する
30.6	学校等における非行防止、通学路における安全確保を推進する
31.6	警察官や交番相談員を増やし、交番を不在にする時間を解消する
21.8	警察と地域住民が連携して行う防犯パトロールや防犯講習会の開催など、防犯活動を推進する
23.0	パトカーや白バイなどを増やし、パトロールを強化する
18.4	移動交番車を増やし、地域における防犯力を強化する
19.9	ボランティア、自治会等、地域主導型の防犯組織づくりを推進する
17.1	人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所を新設する
10.6	警察官を増やし、警察力を強化する
5.2	民間企業のセキュリティシステムに加入するなど、自己防衛力を強化する
6.0	最先端技術を駆使した装備や機材を導入するなど、警察の科学捜査力を充実させる
2.3	その他 (具体的に)
2.0	無回答

このほかに、「県民の治安に対する意識と警察にもとめること」についてやここまでの質問
(問 17～問 22) について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【環境保全に関する取り組みについて】

現在の環境問題は、人間のあらゆる活動がもたらす環境への負荷が自然の持つ復元能力を上回っていることから生じています。この解決のためには、一人ひとりの県民が日常生活において環境への配慮を行うとともに、環境保全のための活動に取り組んでいくことが必要です。

問 23 あなたは、ふだんの生活で次のようなことを行っていますか。 (○はそれぞれ1つ)

n = 1,571	実施している	ときどき実施している	あまり実施していない	実施していない	該当するものがない	無回答
(ア) 節電に努めている	50.0	38.7	7.8	1.3	0.3	1.9
(イ) 冷暖房の設定温度を控えめにする (冷房28℃・暖房20℃を目安など)	48.1	28.0	14.1	4.9	1.8	3.0
(ウ) 省エネルギー性能の高い家電製品を選ぶ	36.9	27.9	20.3	7.1	3.6	4.3

n = 1,571	実施している	と とき ど き 実 施 し て い る	あ ま り 実 施 し て い な い	実 施 し て い な い	該 当 す る も の が な い	無 回 答
(エ) レジ袋をもらわない	25.3	38.5	13.9	18.6	0.1	3.6
(オ) 車の急発進・急加速はしない	46.8	17.3	6.8	3.0	18.2	7.9
(カ) できるだけ公共交通機関を利用する	31.7	22.6	20.9	16.4	3.2	5.3
(キ) 環境家計簿（※）等をつける	3.1	1.3	5.7	77.1	6.4	6.6

※環境家計簿とは、毎日の生活の中で環境に影響する出来事や行動を家計簿のように記録し、家庭で発生している環境負荷をCO₂排出量として算出するものです。

問 24 あなたは、これまでに環境保全に関する講演やセミナー、環境ボランティア活動などに参加したことがありますか。 n = 1,571 (○は1つ)

14.6	参加したことがある	
36.6	参加したことはないが、機会があれば参加してみたい	
30.1	参加したことはなく、あまり参加したいと思わない	
15.8	参加したことはなく、今後とも参加するつもりはない	
1.0	その他（具体的に)
2.0	無回答	

問 25 あなたは、地球温暖化の防止のために、どのようなことが重要だと思いますか。 n = 1,571 (○はいくつでも)

68.1	家庭における省エネルギーの取り組み	
53.7	風力、太陽光発電などの再生可能なエネルギーの普及	
30.4	企業への行政指導	
20.0	企業への行政支援	
38.1	家電製品等への省エネルギー技術の開発	
30.9	学校における環境教育の充実	
37.9	省エネルギー性能の高い家電製品の買い替え等への支援	
14.4	行政やマスコミの広報活動	
28.3	ビル・マンションなどの建築物における省エネ性能の向上	
2.8	その他（具体的に)
3.0	無回答	

このほかに、「環境保全に関する取り組みについて」やここまでの質問（問 23～問 25）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進について】

千葉県では、ごみの減量（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の3R運動を推進し、環境への負荷を逡減する社会づくりに取り組んでいます。

問 26 あなたは、ごみやリサイクルの問題について、どのように考えて行動していますか。
n = 1,571（○は1つ）

- 3.1 ごみのことはあまり気にせずに、行動している
- 18.1 ごみ問題は深刻だと思っているが、特に意識して行動することはない
- 50.9 ときどき意識して、ごみを少なくする配慮をし、リサイクルを心がけている
- 25.4 いつも意識して、ごみを少なくする工夫とリサイクルを実行している
- 0.9 わからない
- 1.7 無回答

問 27 あなたは、日頃の暮らしの中でごみを減らすため、またはリサイクルするために、どのようなことを心がけていますか。
n = 1,571（○はいくつでも）

- 46.7 マイバッグ（買い物袋）を持参し、レジ袋はもらわない
- 37.8 過剰包装を断り、簡易包装の商品を選ぶ
- 39.1 使い捨ての商品は買わない（詰め替え商品を選ぶ、水筒を携帯するなど）
- 10.7 環境に配慮した製品（エコマークのついた製品など）を積極的に購入する
- 38.6 余分なものを購入しない（バラ売りや少量パックの商品などを選ぶ）
- 66.9 ごみの分別ルールを徹底する
- 2.6 リースやレンタルの製品を活用する
- 48.8 食事のときに食べ残しを出さない
- 4.5 特に心がけていることはない
- 1.3 その他（具体的に)
- 1.3 無回答

問 28 今後のごみ問題について、どのようなことを望みますか。 n = 1,571（○はいくつでも）




- 72.9 詰め替え用の製品や繰り返し使うために適した製品などを増やし、ごみの量を減らす
- 46.4 分別収集をもっと徹底し、限られた資源の有効利用（リサイクル）を進める
- 36.2 ごみ問題に関する教育に力を入れる
- 8.0 ごみ収集を有料化する
- 17.5 ごみ出しや分別ルールの違反に罰則を設ける
- 2.4 その他（具体的に)
- 2.3 わからない
- 2.6 無回答

このほかに、「3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進について」やここまでの質問（問 26～問 28）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【「環境にやさしい農業」について】

県では、農業が自然環境に与える負荷を軽減するため、農薬や化学肥料の使用を通常の半分以下に低減して栽培する「ちばエコ農産物」の認証や、土づくり技術と農薬・化学肥料の低減技術を導入するエコファーマーの認定、農薬と化学肥料を使用しない有機農業への支援など「環境にやさしい農業」を推進しています。

問 29 あなたが、ちばエコ農産物、エコファーマーや有機農産物などの環境にやさしい農産物を購入するとした場合、その理由は何ですか。 n = 1,571 (○はいくつでも)

76.3 安全だと思うから	   <p>ちばエコ農産物 エコファーマー JAS 有機</p>
46.5 健康に良さそうだから	
35.5 生産者がわかるから	
21.5 食味や栄養面で優れていると思うから	
21.2 環境保全に貢献したいから	
3.8 購入する意思はない	
3.5 無回答	

問 30 「環境にやさしい農業」を進めるために、あなたが重要だと思うものはどれですか。 n = 1,571 (○はいくつでも)

75.4 農薬の使用を減らすこと
50.5 化学肥料の使用を減らすこと
62.8 堆肥による土づくりをすすめ、地力を高めること
27.0 ビニールなどの農業用廃棄物を減らすこと
1.4 その他 (具体的に)
3.1 無回答

問 31 「環境にやさしい農業」への取組みを理解してもらうために、どのような活動が必要だと思いますか。 n = 1,571 (○はいくつでも)

77.1 千産千消 (県産の新鮮でおいしい安全な農産物を県内で消費する) 運動の推進
33.5 農業体験や産地見学会
39.2 販売促進のためのイベント
25.0 マスメディアを活用したPR
7.6 シンポジウムやフォーラム
1.5 その他 (具体的に)
3.9 無回答

このほかに、『環境にやさしい農業』について」やここまでの質問(問29～問31)について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

<hr/> <hr/>

【食育について】

県では、県民一人ひとりが子どもの頃から、「食」を選択する力を身に付けて健全な食生活を送ることができるようにするため、食育の推進に取り組んでいます。

問 32 あなたは「食育」に関心がありますか。

n = 1,571 (○は1つ)

33.4 関心がある	3.5 関心がない
39.0 どちらかといえば関心がある	6.4 わからない
15.0 どちらかといえば関心がない	2.8 無回答

→ (問32で「1」「2」とお答えの方に)

問32-1 あなたが「食育」に関心があると思う理由について、お聞かせください。

n = 1,137 (○はいくつでも)

77.0	子どもの心身の健全な発育のために必要だから	
76.4	食生活の乱れ(栄養バランスの崩れ、不規則な食事等)が問題だから	
29.8	肥満ややせすぎが問題だから	
56.5	生活習慣病(ガン、糖尿病等)の増加が問題だから	
21.0	BSEの発生など、食品の安全確保が重要だから	
20.6	食にまつわる地域の文化や伝統を守ることが重要だから	
16.9	消費者と生産者の間の交流や信頼が大事と思うから	
39.8	買い過ぎ、作り過ぎ、食べ残しなど、大量の食品の廃棄が問題だから	
1.4	その他(具体的に)
0.0	わからない	
0.2	無回答	

問 33 あなたは、食育に関する活動や行動をしていますか。

n = 1,571 (○は1つ)

4.0	積極的にしている	27.5	していない
34.0	できるだけするようにしている	3.6	わからない
28.7	あまりしていない	2.2	無回答

問 34 あなたは、食生活を送るうえで、食生活上の指針として国が策定した「食事バランスガイド」(※)、「食生活指針」(※)、「日本人の食事摂取基準」(※)等の何かを参考にしていますか。

n = 1,571 (○は1つ)

3.8	いつも参考にしている	41.3	ほとんど参考にしていない
26.9	ときどき参考にしている	25.6	食生活上の指針を知らない
		2.4	無回答

※食事バランスガイド : 1日にとる食事の望ましい組み合わせや量の目安をイラストで示したもの

※食生活指針 : 健康で豊かな生活を送るために大切な10項目を示したもの

※日本人の食事摂取基準 : エネルギー及び各栄養素の摂取量の基準を示したもの

問 35 あなたは、健康に悪影響を与えないようにするために、どのような食品を選んだ方が良いかや、どのような調理が必要かについての知識があると思いますか。

n = 1,571 (○は1つ)

7.3	十分にあると思う	34.4	あまりないと思う
49.5	ある程度あると思う	6.7	全くないと思う
		2.0	無回答

問 36 家庭（単独世帯を含む）における食育として、自ら実践することが重要です。子供等への教育・指導は除き、次の1から5のそれぞれについて、あなたに、あてはまる項目を1つずつお答えください。

36-1 栄養バランスの優れた「日本型食生活」(※)の実践、野菜摂取量を増やす、油の多いものを控えるなど、栄養バランスに気をつけている。 n=1,571

15.1 必ずしている	13.0 あまりしていない
34.2 しばしばしている	2.8 全くしていない
33.3 時々している	1.6 無回答

※日本型食生活：日本の気候風土に適した米を中心に水産物、畜産物、野菜等多様な副食から構成され、栄養バランスが優れた食生活です。

36-2 家族や友達と食卓を囲み、食事を楽しむ機会を増やすなど、食を通じたコミュニケーションを充実させている。 n=1,571

16.7 必ずしている	22.1 あまりしていない
21.0 しばしばしている	5.9 全くしていない
32.7 時々している	1.7 無回答

36-3 毎日朝食を摂る規則正しい食生活に努めている。 n=1,571

67.0 必ずしている	9.7 あまりしていない
12.4 しばしばしている	3.6 全くしていない
6.0 時々している	1.3 無回答

36-4 自らも料理に取り組んでいる。 n=1,571

44.0 必ずしている	15.1 あまりしていない
13.8 しばしばしている	10.1 全くしていない
15.5 時々している	1.4 無回答

36-5 食べ残しを減らす努力をしている。 n=1,571

49.1 必ずしている	6.0 あまりしていない
29.0 しばしばしている	0.9 全くしていない
13.6 時々している	1.4 無回答

問 37 我が国では、四季折々の様々な食材に恵まれ、長い年月を経て地域と結びついた郷土料理、伝統食や行事食(※)、配膳方法、作法などの食文化が形成されてきました。あなたがお住まいの地域の郷土料理や伝統食について、何種類知っていますか。

n=1,571 (○は1つ)

19.9 7種類以上	23.9 3～4種類	15.6 食べたことがない
14.1 5～6種類	24.6 1～2種類	1.9 無回答

※伝統食や行事食の例
正月（おせち・雑煮、七草粥等）、節分（まめ、煮染め等）、桃の節句（菱餅、桜餅、太巻寿司等）、春分（ぼた餅等）、十五夜（月見団子等）、秋分（おはぎ等）、冬至（かぼちゃ料理等）、大晦日（そば等）

問 38 あなたは、食育の推進に関わるボランティア活動に機会があれば参加したいとお考えですか。 n=1,571 (○は1つ)

32.1 参加してみたい

64.0 参加してみたいとは思わない

3.8 無回答

> (問38で「1」とお答えの方に)

問38-1 あなたは、食育の推進に関わるどのようなボランティア活動に参加してみたいと思いますか。 n=505 (○は3つまで)

- 66.7 生活習慣病予防などのための料理教室
- 36.4 食生活改善に関する活動
- 46.3 郷土料理、伝統料理等の食文化を継承するための活動
- 37.4 食の安全や表示に関する正しい知識を啓発・普及する活動
- 13.7 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動
- 15.2 農林漁業などに関する体験活動
- 9.3 食育に関する国際交流活動
- 0.6 その他 (具体的に)
- 1.6 特にない
- 0.4 わからない
- 0.4 無回答

このほかに、「食育について」やここまでの質問 (問 32~問 38) について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

【市民活動について】

市民活動団体(NPO)とは、市民(県民、住民)の自発性に基づき、営利を目的としない、自立的・継続的に社会的サービスを提供する団体のことで、法人格のないボランティア団体や住民活動団体も含まれます。また、このような団体が、市民の視点に立って自ら行う活動を市民活動といいます。

問 39 あなたは、市民活動についてどのようなイメージをお持ちですか。 n=1,571 (○はいくつでも)

- 35.6 市民が自発的に、市民が必要としているサービスを提供している
- 30.3 行政や企業とともに、市民の視点に立った新しい地域づくりを担っている
- 29.7 市民が自己実現を図り、支え合う仲間を作る場となっている
- 24.2 怪しげな活動をする団体もある
- 18.8 自分にはあまり関係がない
- 1.3 その他 (具体的に)
- 13.6 わからない
- 4.4 無回答

問 40 あなたは、市民活動のどのような面に期待していますか。 n=1,571 (○は1つ)

- 21.6 市民が必要とする公共サービスの担い手として期待している
- 11.1 市民が社会的課題に取り組むための受け皿として期待している
- 22.5 新たなネットワークを生み、地域コミュニティを活性化させることを期待している
- 10.1 自分の経験や能力が発揮できる社会貢献や自己実現の場となることを期待している
- 2.0 雇用の場として期待している
- 13.4 あまり期待していない
- 14.1 わからない
- 5.2 無回答

問 41 市民活動団体が継続的に活動していく際の課題に、資源（資金、モノ、人材、場所、情報等）の不足があります。市民がこれらの資源を提供することにより、市民活動を支援し、活動を活発にする方法が考えられます。

あなたは、市民活動に対し、何らかの形で支援をしたいと思いませんか。

n=1,571 (○は1つ)

- 1.3 積極的に支援をしたい
- 33.8 賛同できる活動には支援をしてもよい
- 16.4 支援したいがどのように支援して良いかわからない
- 43.3 わからない
- 5.3 無回答

→ (問 41 で「1」「2」「3」とお答えの方に)

問 41-1 あなたは、市民活動にどのような支援をしたいと思いませんか。

n=808 (○はいくつでも)

- 24.5 寄付などにより資金を提供する
- 29.7 物品を提供する
- 4.1 活動場所を提供する
- 53.6 イベント時のボランティアなどにより労力を提供する
- 13.5 情報やノウハウを提供する
- 27.8 市民活動団体が作成した物品の購入や、同団体が主催するイベントの参加費を支払うことで支援する
- 0.7 その他 (具体的に)
- 2.5 無回答

このほかに、「市民活動について」やここまでの質問（問 39～問 41）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことごとをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1,571 (○は1つ)

43.6 男性	53.8 女性	2.6 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1,571 (○は1つ)

7.4 20～29 歳	14.8 40～49 歳	12.5 60～64 歳
14.8 30～39 歳	16.9 50～59 歳	30.9 65 歳以上
		2.6 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1,571 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
2.0 農林漁業	1.1 農林漁業	6.2 管理職	31.4 主婦
2.7 商工サービス業	0.8 商工サービス業	21.7 専門技術・事務職	1.2 学生
3.7 自由業		11.2 労務職	12.9 その他
			5.1 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の生活を支えている方（世帯主）ですか、それとも、家計のきりもりをしている方（家事担当者）ですか。

n = 1,571 (○は1つ)

46.7 家庭の生活を主として支えている（世帯主）
37.2 家計のきりもりをしている（家事担当者）
11.3 その他（ ）
4.8 無回答

→ (F 4で「2」「3」とお答えの方に)

F 4-1 あなたのご家庭の生活を主として支えている方のご職業は何ですか。

n = 763 (○は1つ)

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
2.8 農林漁業	1.0 農林漁業	15.9 管理職	29.5 無職
2.9 商工サービス業	0.7 商工サービス業	25.4 専門技術・事務職	2.6 無回答
7.1 自由業		12.2 労務職	

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。

n=1,571 (○は1つ)

16.3 未婚	68.0 既婚 (配偶者有)	12.0 既婚 (配偶者離死別)	3.7 無回答
---------	----------------	------------------	---------

→ (F 5で「2」「3」とお答えの方に)

F 5-1 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

n=1,257 (○は1つ)

17.5 1人	15.5 3人	0.7 5人以上
53.6 2人	1.8 4人	10.3 子どもはいない
		0.6 無回答

→ (F 5-1で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に)

F 5-2 それでは、一緒にお住まいのあなたのお子さんで次の中にあげるような方は
いらっしゃいますか。

n=1,120 (○はいくつでも)

5.6 0～2歳の子ども	5.6 大学・大学院在学中の子ども
7.9 3歳以上の未就学の子ども	28.1 学校を終えた未婚の子ども
19.2 小学校・中学校在学中の子ども	17.6 結婚した子ども
8.2 高校在学中の子ども	21.7 同居している子どもはいない
2.3 短大・高専・各種学校・専修学校に 在学中の子ども	5.7 無回答

F 6 あなたは、あなたと一緒に暮らしの御家族の構成は次の中のどれに該当しますか。

n=1,571 (○は1つ)

9.4 単身	46.9 二世代世帯 (親と子)	2.4 その他
27.2 夫婦のみ	9.5 三世代世帯 (親と子と孫)	4.5 無回答

F 7 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めてお答えください。

n=1,571 (○は1つ)

47.0 いる	50.2 いない	2.7 無回答
---------	----------	---------

F 8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n=1,571 (○は1つ)

66.8 持家 (一戸建)	4.3 公社・公団・県市町村営住宅
12.2 分譲マンション・アパート	2.2 社宅などの給与住宅
2.0 民間の借家 (一戸建)	0.4 住み込み・寮・寄宿舎
9.3 賃貸のアパート・マンション	0.0 その他 ()
	2.8 無回答

F 9 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。 n=1,571 (○は1つ)

1.3	1年未満	3.8	5年～10年未満	19.0	20年～30年未満
2.1	1年～3年未満	5.0	10年～15年未満	60.3	30年以上
1.7	3年～5年未満	5.3	15年～20年未満	0.1	わからない
				1.2	無回答

F 10 あなたは、次のどの市または町村にお住まいですか。 n=1,571 (○は1つ)

15.1	千葉市	1.3	東金市	1.3	君津市	1.3	香取市
1.1	銚子市	0.7	旭市	1.0	富津市	0.6	山武市
7.8	市川市	2.2	習志野市	2.0	浦安市	0.3	いすみ市
8.3	船橋市	5.6	柏市	1.3	四街道市	0.5	印旛郡栄町
1.1	館山市	0.6	勝浦市	1.1	袖ヶ浦市	0.4	香取郡多古町
2.4	木更津市	4.6	市原市	1.1	八街市	1.0	山武郡大網白里町
8.7	松戸市	3.0	流山市	1.1	印西市	0.4	山武郡九十九里町
2.7	野田市	2.9	八千代市	0.9	白井市	0.6	山武郡横芝光町
1.6	茂原市	2.1	我孫子市	1.1	富里市	0.4	長生郡長生村
2.2	成田市	0.6	鴨川市	1.0	南房総市	0.3	長生郡長南町
3.0	佐倉市	2.1	鎌ヶ谷市	1.0	匝瑳市	0.4	夷隅郡大多喜町
						1.0	無回答

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県への意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。
 ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
12月22日（水）までにポストにご投函ください。なお、切手は不要です。